

調布保谷線(三鷹武蔵野区間)環境施設帯検討協議会

調布保谷線だより

第 5 号
平成22年11月

発行 東京都北多摩南部建設事務所 ☎042-330-1861
〒183-0006 東京都府中市神町1-27-1

皆様には、日頃から東京都の道路行政にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。
東京都では、地域の皆様と検討を進めている内容を広く市民の皆様にもお知らせするために「調布保谷線だより」を発行しております。本号では、平成22年度実施箇所のブロック検討会（第2回）及び地区検討会（第1回）の結果を報告いたします。

■平成22年度 ブロック検討会・地区検討会実施状況



目次

- ブロック検討会
 - ・地区検討会の実施状況・・・1p
 - ◇平成22年度
ブロック検討会の実施箇所・・・1p
 - ◇平成22年度
地区検討会の実施箇所・・・1p
- 第2回ブロック検討会の概要・・・2p
 - ◇緑地タイプと副道タイプ
の特徴比較・・・2p
 - ◇ブロック別意向結果・・・2p
 - ◇その他ご意見ご要望・・・2p
- 第1回地区検討会の概要・・・3p
 - ◇植樹帯の配置と通行区分・・・3p
 - ◇遮音壁設置の有無・・・4p
 - ◇バス停・・・5p
 - ◇市道の取付・・・5p
 - ◇横断歩道・・・5p
 - ◇街路樹・・・5p
- 暫定二車線道路
整備工事について・・・6p
- 二層式低騒音舗装の
騒音低減効果について・・・6p

◇平成22年度 ブロック検討会の実施箇所



◇平成22年度 地区検討会の実施箇所



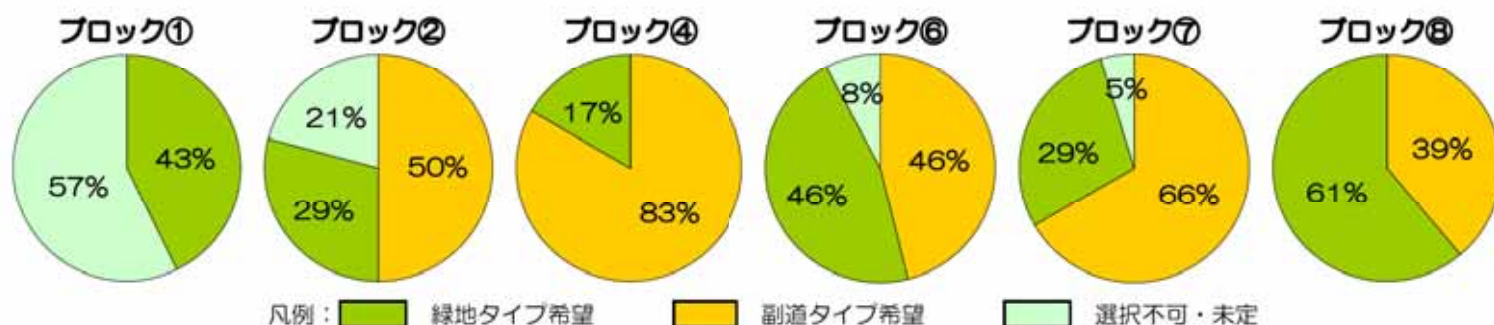
■第2回ブロック検討会の概要

第2回ブロック検討会では、平成21年度と同様に環境施設帯のタイプ別の長所や短所についてその特徴を説明し「緑地タイプ」と「副道タイプ」のどちらで整備するかを検討しました。

※各タイプの特徴は調布保谷線だより第3号に掲載しています。

◇ブロック別 意向結果

参加された方々に伺った環境施設帯の希望タイプは下図のとおりでした。現在2車線の都道に面しているブロック①・②・④では、ブロック①は緑地タイプの希望が多く、ブロック②・④は副道タイプの希望が多い結果となりました。また、現在一方通行の生活道路に面しているブロック⑥・⑦・⑧では、ブロック⑥は緑地タイプと副道タイプの希望が同数、ブロック⑦は副道タイプが多く、ブロック⑧は緑地タイプが多い結果となりました。



◇その他のご意見、ご要望

ブロック検討会では、参加された方々に環境施設帯のタイプ決定に関すること以外の項目について、良く分からないことなどをご意見、ご要望としてお聞きしました。

ご意見ご要望では、樹木に関する内容が最も多い結果となりました。その他にも、歩行者・自転車の通行や切下げ（車の乗入れ箇所）、右折・Uターン、遮音壁の設置、用地に関する内容が多く寄せられました。

ご意見ご要望が多かった項目については、次回以降の地区検討会やブロック検討会の検討事項としました。



ブロック検討会で伺った主なご意見ご要望

切下げ関連	乗用車・配送用トラック向けの切り下げが必要
歩行者・自転車道関連	自転車と歩行者はとびとびの植栽で分けるのがよい バス停付近、交差点付近にスピード防止の段差を設ける
遮音壁関連	美観上遮音壁をやめて、高機能舗装や植栽により対応すべき
樹木関連	落葉しない常緑樹がよい、樹種の希望を相談してほしい 既存樹木を残してほしい（上連雀通北児童遊園の桜・植木） 雑草等管理をきちんと行ってほしい 草取り、花壇整備などボランティアで協力できないか
バス停関連	近くにバス停を設置してほしい
右折・Uターン関連	Uターン設置を希望（山中通り交差点、配水場前）
用地関連	用地買収に関する説明協議を早急をお願いしたい 武蔵野市の建ぺい率の現況（40/80）を三鷹市（60/150）と同じレベルにしてほしい ⇨建ぺい率を変えないでほしい
横断歩道関連	横断歩道、信号の設置（山中バス停付近）
排水関連	雨水排水の配慮を願いたい（ゲリラ豪雨対策等）

■第1回地区検討会の概要

第1回地区検討会では、第1回、第2回のブロック検討会の結果を踏まえ、地区ごとに項目別の検討を行いました。検討した項目は以下のとおりです。

①植栽帯の配置、②遮音壁設置の有無、③バス停、④市道の取付、⑤横断歩道、⑥街路樹

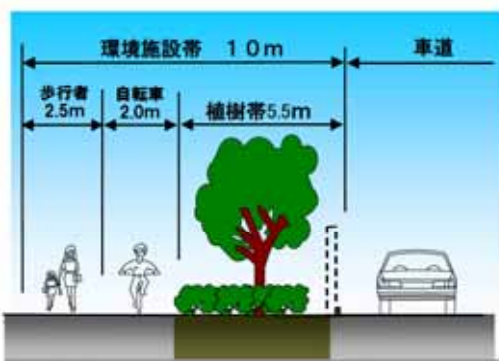
◇植栽帯の配置と通行区分

①植栽帯の配置

環境施設帯の整備では、植栽帯の配置が機能性や景観に大きく影響することとなります。地区検討会ではブロック検討会と同様に様々な配置パターンを説明した上で地域に合った形状の検討を行いました。

環境施設帯の基本タイプである「緑地タイプ」「副道タイプ」それぞれで複数（8通り）のパターンについて検討しました。検討した結果は以下のとおりです。

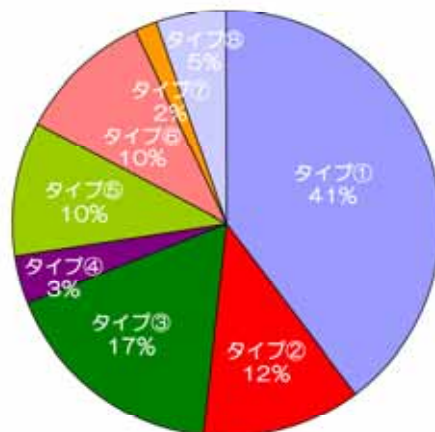
緑地タイプ



緑地タイプについて、8パターンについてご要望をお聞きしました。
その結果、歩道と自転車道の間を植栽で分離しない「タイプ①」がもっとも多く選択されました。

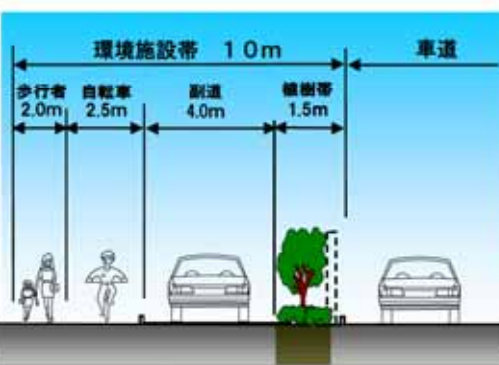
※タイプ①以外のタイプは調布保谷線だより第3号をご参照下さい。

緑地タイプ検討結果



※上記グラフは、地区①・②・④・⑥・⑦の合計値で作成したものです。

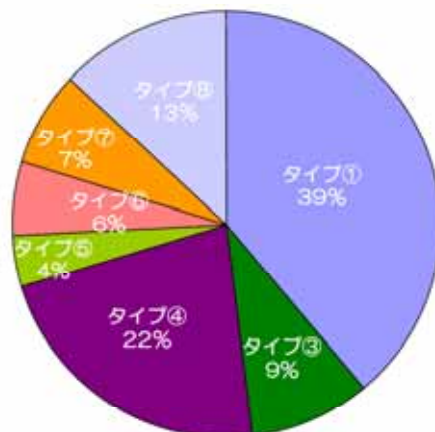
副道タイプ



副道タイプについて、8パターンについてご要望をお聞きしました。
その結果、歩道と自転車道および自転車道と副道の間を植栽で分離しない「タイプ①」がもっとも多く選択されました。

※タイプ①以外のタイプは調布保谷線だより第3号をご参照下さい。

副道タイプ検討結果



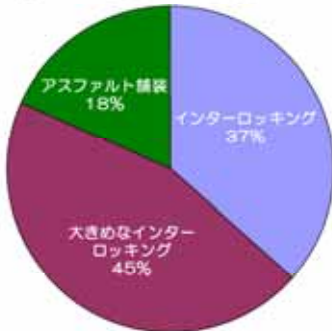
※上記グラフは、地区①・②・④・⑥・⑦の合計値で作成したものです。

自転車歩行者道の舗装

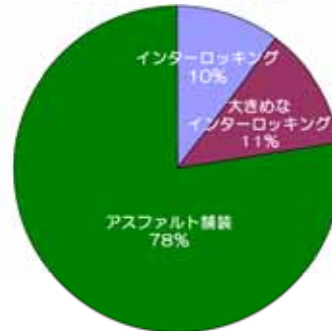
自転車や歩行者が通行する部分の舗装材料について、景観面や通行面、維持管理面などの特性を説明しご要望をお聞きしました。検討した結果は以下のとおりです。

歩行者通行部は、段差の生じにくい大きめのインターロッキングブロック舗装の選択が多く、自転車通行部は、走行性などからアスファルト舗装の選択が多い結果となりました。ともに平成21年度と同様の結果となりました。

歩行者通行部の検討結果



自転車通行部の検討結果



◇遮音壁設置の有無

三鷹武蔵野区間は、既定の計画で全線に遮音壁を設置する計画になっています。

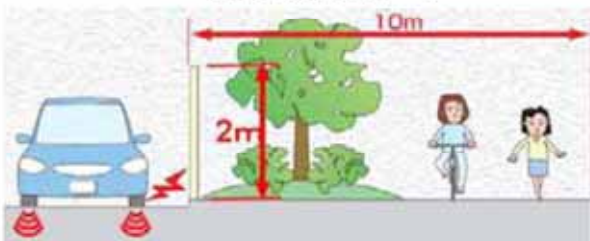
(車道と環境施設帯の間に高さ2mの遮音壁を設置する計画です)

既に整備が進んでいる調布三鷹区間においても、既定の計画では同様に遮音壁を設置することとしていましたが、①地域分断、②防災及び治安、③景観等の観点から設置を望まないという強い意見が出されたため、遮音壁の設置の代替(騒音対策)として二層式低騒音舗装を舗装しています。

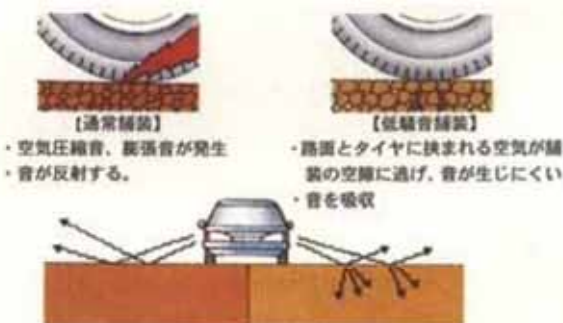
(このため調布三鷹区間では、東京都環境影響評価条例に基づく計画変更の手続きを行っています)

三鷹武蔵野区間についても地域の方々に遮音壁の設置、二層式低騒音舗装の舗装についてお聞きしました。

遮音壁設置イメージ



低騒音舗装のイメージ



※二層式低騒音舗装は、通常の低騒音舗装より騒音低減効果及びその持続性ともに優れたものです。

遮音壁設置の有無については、右図のとおり、二層式低騒音舗装による対策の選択が多く、遮音壁の選択は少ない結果となり、平成21年度と同様の結果となりました。

遮音壁については路線として統一すべき検討事項として取り扱うこととしています。

遮音壁の検討結果



◇バス停

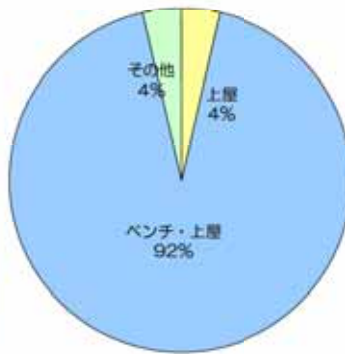
現在、三鷹武蔵野区間における路線バスの運行ルートは一部区間に限られていますが、今後、道路が整備されることにより路線バスの拡張が期待されます。

検討会では、バス停が出来た場合を想定して、バス停の上屋やベンチの希望についてお聞きしました。

参加者の大部分の方々が上屋とベンチ両方の設置を希望され、平成21年度と同様の結果となりました。



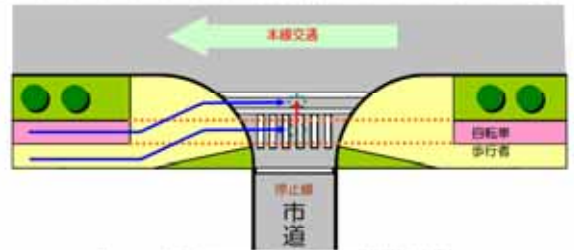
バス停の検討結果



◇市道の取付

調布保谷線に取り付く多くの市道について、安全確保の工夫例を説明しご意見をお聞きしました。

要望としては平成21年度と同様に自転車歩行者道を通行する自転車と歩行者に対する安全対策について要望や、市道から出てくる自動車の見通し確保についても要望がありました。



◇横断歩道

三鷹武蔵野区間には、現在も多くの横断歩道がありますが、道路が整備されると横断歩道部分がどのような形態になるかを説明しご意見ご要望をお聞きしました。

また、道路整備後は中央帯ができるため、現在のように右折が出来なくなる場所が出てきます。このため、地域でUターンレーンなどの設置についてもご意見ご要望をお聞きしました。

検討会では、歩行者の安全な道路横断に対する要望やUターンレーンの設置要望がありました。

◇街路樹

街路樹として植栽する樹種については調布三鷹区間での実績などを紹介しました。

検討会では、落ち葉に対する清掃の懸念から常緑樹の希望が多く寄せられました。

具体的な樹種については以下のものが挙げられました。

- 高木：メタセコイヤ、ケヤキ、サルスベリ、ハナミズキ
- 中木：サザンカ、キンモクセイ
- 低木：クルメツツジ

植栽については引き続き検討することとしました。

地区検討会で伺った街路樹に対する主なご意見ご要望

四季を通して美しい道路にしてほしい
高木は常緑樹にしてほしい
野鳥がくる低木で実のなる木にしてほしい
店舗前は店舗が目立たないように低木にしてほしい
草取り、花壇整備などのボランティアの予算はもう少し増やして、武蔵野・三鷹シルバー人材センターの仕事にして欲しい
街路樹は沿道の住民の掃除の手間がかからないようにして下さい
上連雀北児童遊園の桜は残せる木は残した方が良く ⇔ 桜は毛虫がつくのでやめてほしい
イチヨウは葉が落ちるとすべるのでやめてほしい
境南通りがケヤキですごい大木になってしまい落葉も多いのでケヤキ以外の木を希望します

■ 暫定二車線道路整備工事について

調布保谷線におけるJR中央線との交差部は、旧踏切が狭く歩行者自転車の通行の支障となっているほか、自動車はJR中央線を横断できない状況です。

このたびJR中央線が高架化され、調布保谷線の事業用地取得も進んできていることから、現道を拡幅して幅員7mの暫定二車線道路整備工事を実施することとしました。この道路整備により新道北通りから武蔵野3・4・7の間を自動車が相互通行できるようになります。また暫定道路の外側は歩行空間としてご利用いただけるように整備しますので、自転車や歩行者の安全性も向上します。

工事期間中はご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



■ 二層式低騒音舗装の騒音低減効果について

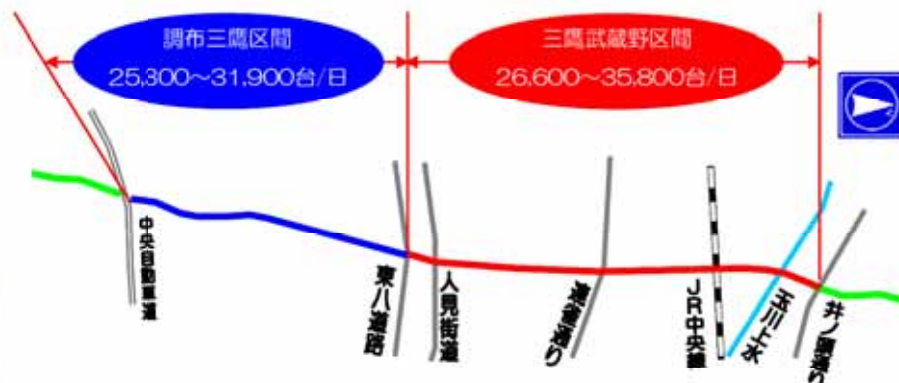
検討会では、遮音壁の代替案として調布三鷹区間で採用した二層式低騒音舗装を紹介しています。

調布三鷹区間では当初遮音壁を設置する計画になっていましたが、沿道および地域住民の方々からの強い要望を受け、二層式低騒音舗装に変更しています。そのため、道路交通騒音の予測を再度行い二層式低騒音舗装であっても評価の指標を満足できることを確認しています。

三鷹武蔵野区間において今後各種検討会を開催していき、沿道および地域住民の方々からの要望により遮音壁を中止して二層式低騒音舗装に変更することとなった場合には、調布三鷹区間と同様の検討が必要になります。

二層式低騒音舗装とした場合の
調布三鷹区間の道路交通騒音の予測結果

地上高さ	予測値 (dB)			
	官民境界		官民境界から20m地点	
	昼間	夜間	昼間	夜間
1.2m	61~62	57~58	56~57	51~52
評価の指標	70	65	60	55



参考：調布三鷹区間と三鷹武蔵野区間の交通量予測

お問い合わせは

東京都北多摩南部建設事務所工事第一課

〒183-0006 東京都府中市緑町1-27-1

電話 042-330-1861

ホームページ <http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/kitanan/>

平成22年11月発行

R100
高規格舗装舗装100%再生型舗装

平成22年度
登録9号